



おばさまのえんねん

小迫の延年

(国指定重要無形民俗文化財)

延暦23年(804年)坂上田村麿が蝦夷征伐のとき戦勝の礼として社内に観音堂を建立、その後、源頼朝が平泉の藤原泰衡征伐の帰途この地で那須与一の扇に擬した的を射る野祭りを行ったのが平泉藤原時代の延年の舞の一つとなり今に伝えられている。(小迫祭 4月第一日曜日 白山神社境内)

か ん な り

金成有機センター

金成総合支所 〒989-5171 宮城県栗原市金成沢辺町沖200 TEL 0228-42-1111 FAX 0228-42-3169

金成有機センター 〒989-4802 宮城県栗原市金成末野下浦山9-7 TEL 0228-44-3411 FAX 0228-44-3411



宮城県

JSW 日本製鋼所



ごあいさつ

この度、資源リサイクル畜産環境整備事業を導入し建設を進めておりました堆肥発酵処理施設「金成有機センター」が完成し操業いたしました。

今日の農業は、自然環境を壊すことなくまもり育み、安心して安全な生産者の顔が見える農産物の提供が求められています。

新しく完成した有機センターは、畜産農家からの家畜排泄物を完全熟成させることにより土にも農作物にも優しい有機完熟堆肥を生産し更に、金成町の有機農業を大きく発展させるとともに、循環型社会の核となる施設でもあります。

本町の基幹産業である農業は、社会経済的情勢の変化等により、農業就業人口の減少や兼業農家の増加、高齢化等の問題が深刻化してきております。このことから農業の安定経営、生産性向上のため、農業生産基盤の整備、農地流動化や農作業受委託による経営規模拡大が必要となっております。

また、畜産環境に対する住民の関心が高まっており、畜産公害が大きな社会問題となっております。

畜産農家の皆様には畜ふんの処理施設として、また、耕種農家の皆様には有機完熟堆肥製造施設として、このセンターを大いに利活用していただきたく切望するところであります。

本施設の建設にあたり、ご支援ご協力をいただきました関係各位に深甚なる感謝を申し上げます。今後とも本町の発展の推進に格別のご理解とご高配をお願い申し上げる次第でございます。

平成16年11月

金成町長 佐藤 小弥太



● 町花【ハギ】 ●

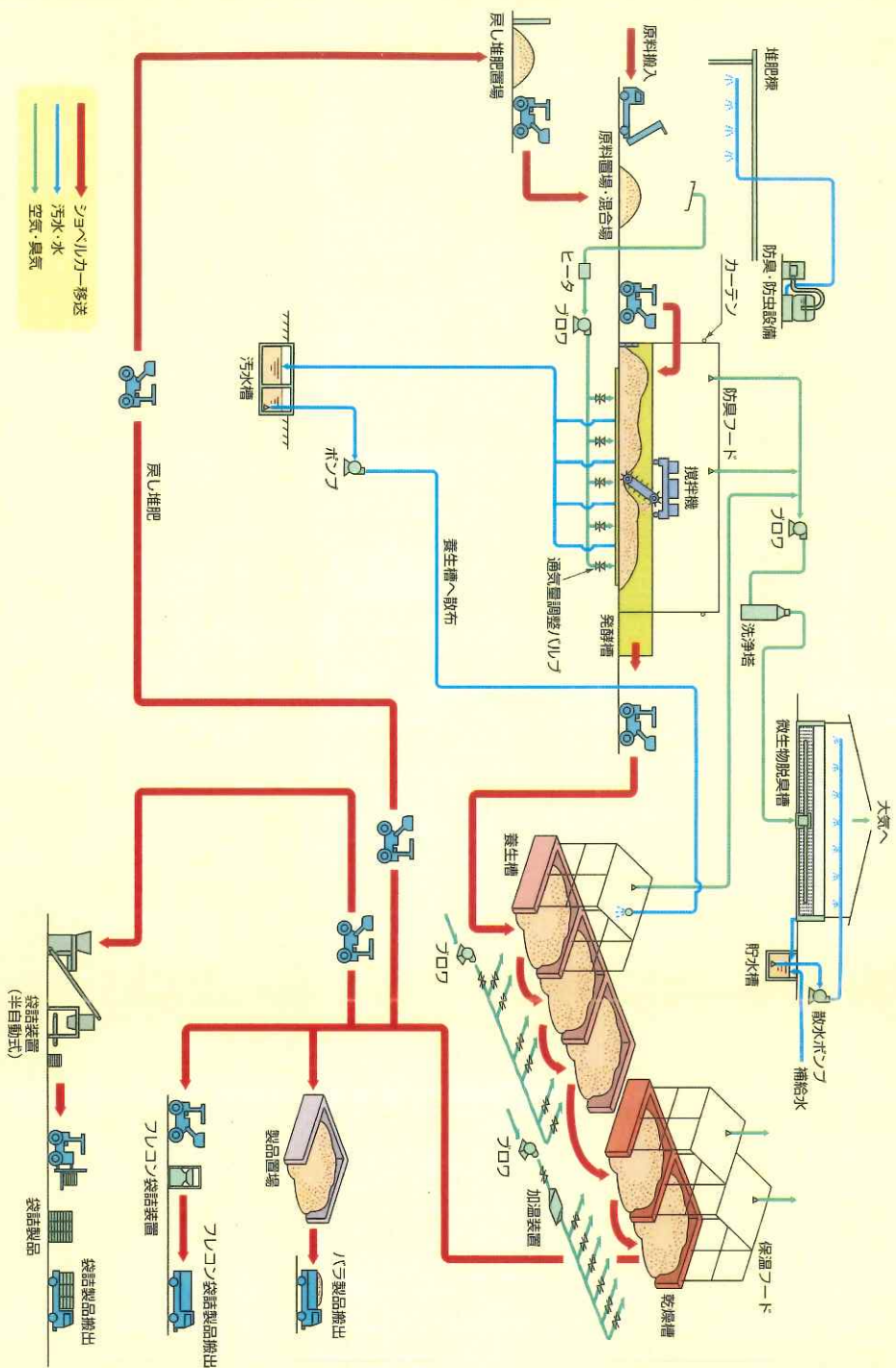


● 町木【ケヤキ】 ●



● 町虫【ホタル】 ●

プロセスフローシート



施設の規模

計画処理能力 14,824t/日 (内訳)

搾乳牛糞	3,003t
肉用牛糞 (繁殖)	2,328t
肉用牛糞 (肥育)	3,304t
繁殖仔豚 (母豚)	0,135t
肥育豚	0,495t
返送材	5,559t



発酵槽及び攪拌機



乾燥槽及び養生槽



養生配管



洗淨塔



貯糞槽



半自動式袋詰装置

施設の概要

●事業名称	栗駒東部地区資源リサイクル畜産環境整備事業
●所在地	宮城県栗原市金成末野下浦山9-7
●施設の構成	敷地面積 6,600m ² 延床面積 堆肥棟 2,505m ² 脱臭棟 165m ² 構造 鉄骨造平屋建て
●施設設備	発酵処理機械 1台 発酵曝気設備 1式 養生曝気設備 1式 汚水処理設備 1式 脱臭設備 1式 半自動式袋詰装置 1台 堆肥運搬車 2台 自走ローダー 1台 自走式マニアスプレッダ 1台 フォークリフト 1台
●工期	着工 平成16年3月 竣工 平成16年10月
●総事業費	430,604千円
●事業主体	社団法人 宮城県農業公社
●設計・監理	有限会社 いわい建築設計事務所
●施工	機械設備 株式会社 日本製鋼所 建築工事 株式会社 橋本



配置図

